

ピーマン産地実務者会議を開催しました

令和7年6月27日（金）、鹿島地帯特産指導所において、鹿嶋・神栖地域ピーマン産地実務者会議を開催し、生産組織の代表者ら9名と鹿嶋市、神栖市、JAなめがたしおさい、農業総合センター（鹿島地帯特産指導所含む）及び当普及センターから17名の計26名が参加しました。

この会議は、ピーマン国内最大の産地である鹿嶋・神栖地域で近年問題となっている黄化えそ病とモザイク病の対応を話し合うために実施しました。生産者個々人の努力だけでは対策が難しいことから、JA部会や任意組合などの生産組織に加え、市や県などの関係機関が連携し、組織横断的に取り組むことを目的としています。

会議では、普及センターから黄化えそ病とモザイク病の発生状況について説明し、続いて対策技術の周知方法や講習会の開催計画について話し合いました。今後は、4か所で対策技術の講習会を実施するとともに、資材店の協力を得て啓発資料を配布するなど、地域全体での対策を進めていくこととなりました。

会議後には、普及センターからピーマンの環境制御技術について、その有効性を紹介し、ピーマン経営の発展に役立てるよう働きかけました。

普及センターでは、引き続き、関係機関と協議を行い、ピーマンの病害削減とピーマン経営体の所得向上を支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）